

平成 21 年度第 1 回「健康日本 21 福岡市計画」推進会議議事録（要旨）

- 1 開催日時 平成 21 年 11 月 26 日（木）15:00～16:30
- 2 開催場所 健康づくりセンター（あいれふ）10 階講堂
- 3 会議次第

1 開 会
2 議 題
議題 1 「健康日本 21 福岡市計画」の取り組み状況について
議題 2 がん検診の推進について
議題 3 特定健診・特定保健指導の実施状況について
議題 4 その他
3 閉 会

- 4 出席委員 健康日本 21 福岡市計画委員 29 名（代理出席を含む。）  
欠席委員：吉田宏会長，猪野猛委員，神坂登世子委員  
青木武委員，橋本治美委員，小林昌樹委員  
磯田伶子委員，疋田敏明委員，川辺啓史委員  
堤清人委員

- 5 報道機関取材者及び傍聴者  
報道機関：無 傍聴者：無

- 6 議事概要
- 議題 1 「健康日本 21 福岡市計画」の取り組み状況について
- (1) 「健康日本 21 福岡市計画」の主な取り組み（H21 年 2 月～10 月）
- (2) サブウェイ・ダイエット事業の取り組み状況
- (3) ウォーキングマップホームページの立ち上げ
- 議題 2 がん検診の推進について
- (1) 女性特有のがん検診推進事業について
- (2) 肺がん・結核健診の実施について

（質問・意見）

委員 乳がん検診はともかく、子宮がん検診は、女性としてはなるだけ受けたくない。今は、腫瘍があれば腫瘍マーカーが血液検査でも見つかることがあると言うが、子宮がんでも使えるのではないか。

委員 確かに、腫瘍マーカーの検査はあるけれども、子宮がん特有の腫瘍マーカーがないため、正しく判定するためには、検診受診が必要。

### 議題3 特定健診・特定保健指導の実施状況について

(質問・意見)

- |    |  |
|----|--|
| 委員 | 特定健診受診率はなかなか伸び悩んでいる。受診が進まない原因は何か。  |
| 委員 | 受診が進まない原因としては、手続きの複雑さがあると思う。<br>多くの都市において特定健診受診率が伸びていないが、仙台市のように40%近い受診率のところもある。<br>今後受診率を伸ばしていくためには、地域において健診受診をサポートする取り組みが必要。   |
| 委員 | ある程度の年齢になれば、病院にかかっている人が多い。病院にかかっている人は特定健診を受けることができないのか。  |
| 委員 | 病院にかかっている場合でも、健診を受けることは可能。<br>病院も積極的に健診受診を促すことも大切。<br>特定健診は平成20年度から始まった制度であり、制度がある程度整備されれば、受診率は40%くらいまでは上げると思う。しかし、受診率の目標である65%を達成するためには、これまで受けてこなかった人をどう掘り起こすかがポイントであり、それには、地域のサポートが必要だと思う。 |

### 議題4 その他

- (1) 新型インフルエンザ対策の現状
- (2) 食育について
- (3) 自殺予防対策
- (4) 今後の取り組みについて

(質問・意見)

- |     |  |
|-----|--|
| 委員  | 新型インフルエンザの患者が増えているため、不安である。<br>子どもは学級閉鎖になっても塾や買い物に行くなど、外出していることも多い。このような状況のため、いつインフルエンザにかかっておかしくない。子どもの指導はどうなっているのか。 |
| 事務局 | せきエチケット、手洗い・うがいの励行は積極的に啓発を行っている。子どもについては、親を含めて本人の自覚の面もあると思うが、教育委員会から学校でも外出を控えるよう指導をしてもらっている。                         |